

知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校
学校だより 第11号
令和2年12月22日
文責 校長 沖田 龍藏

「止むは吾が止むなり、進むは吾が往くなり。」【論語】は、「やめたのは自分であり、進んだのも自分である。最後に決めるのは自分である。」と説いています。3年生は、進路を決定する時期が来ました。進路情報を整理し、最後は悔いのない選択を自分で行ってください。

自らを高め、研究発表会や学校行事等にみんなで盛り上がった充実の2学期！

8月25日付け「知行合一」第7号に、2学期のスタートにあたり、「新型コロナウイルス感染症と熱中症対策をとりつつ、充実した学期としていく中で、日々成長する生徒の姿を楽しみにしています。」と書きましたが、今学期も残すところ、あと3日となりました。年が明けての3学期は、次年度の0学期とよく言われます。0学期には、1年生は2年生の、2年生は3年生の、3年生は高校等の進学先の準備をする学期という意味があります。3年生は、9年間の義務教育を終え、いよいよ高校受験を迎えます。9年間の学びを発揮する時を迎えます。親子で初めて受験を迎える保護者様は、不安もあるかと思いますが、面接試験を課す高校には、事前に学校でも練習して臨みますので心配はいりません。日頃の落ち着いた授業態度を見ていると、本番に持てる力を発揮さえすれば、合格できると信じています。



新型コロナウイルス感染症を警戒しながら、無事に関西方面の修学旅行を終えることができました。3年生は各種行事をよく引っ張ってくれ、駅伝・ロードレース大会優勝、合唱コンクール金賞等、最上級生として行事に真剣に取り組む姿勢を示し、後輩に良い手本となりました。猪木生徒会長を中心とした生徒会執行部、学級委員長や各専門委員会委員長の学校行事に対する献身的な仕事ぶりには目を見張るものがありました。

振り返ると、とりわけ、1年生は残暑厳しい中であつた体育大会を乗り切ったことが自信となり、大きく成長してきたと感じます。先週行われた生徒会改選において5人も副会長候補として名乗りを挙げ、立候補の理由から、学校を活性化していこうとする意気込みを感じました。2年生は文化祭で、田浦に伝わる昔話を脚本化し、仲よく楽しませてくれました。コロナ禍の様々な制約の中、短い準備期間にもかかわらず、質の高い内容でした。また、

<表彰の足跡> (敬称略)

「部活動」・城南新人中学生バドミントン大会 1年宮崎・木吉ペア16位 (県新人戦大会出場)
・吉永商会杯中学生野球大会 3位 ・県中学生新人サッカー大会都市予選 2位
「社会を明るくする作文」保護観察所長賞 題名(「全員平等」) 1年猪木 夏音
「くまもと子ども美術展」特選 3年 窪 晴、山本 朱寿子
「葦北郡子ども美術展」入選 1年 中谷 光秀、福澤 七心、平松 美月
2年 浪辺 明依、田端 麟、元山 太葉 3年 浪辺 晃

このように、一人一人が行事や授業、部活動を通して、大きく成長し「文武両道」に励んだ充実の2学期を過ごすことができたのも保護者や地域の皆様のご支援があったからだと思います。まとめの3学期も「チーム田浦中」で、新型コロナウイルス感染症を警戒しつつも、教育活動を進めてまいります。ご協力をよろしくお願い致します。

HPで情報発信「芦北町立田浦中学校」で検索を